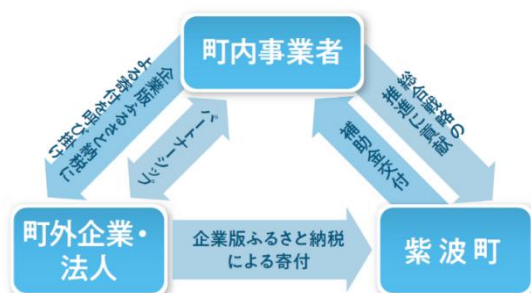


紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進費について

1 紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進費

総合戦略に関連する事業を実施する民間事業者から提案を募集し、企業版ふるさと納税を原資とする補助金を交付するものです。

【イメージ】



2 事業の概要(2件)

①事業名	紫波町における AI,Web3 テクノロジーを用いた地域活性化プロジェクト		
②事業者名	SOKOLIFETECHNOLOGY 株式会社 代表取締役 菅原 壮弘		
③事業目的	AI,Web3を活かして、地域資源(特産物、自然、伝統、文化)を広く世界に周知し、特産品の普及に寄与するほか、町と連携し、福祉事業への貢献、伝統芸能の保全、生産者(担い手)の増進、関係人口の増加を目指す。		
④実施期間	令和7年7月～令和10年3月		
⑤企業版ふるさと納税寄付額	600,000 円(2社)		
⑥事業費	令和7年度:576,000 円 令和8年度: 24,000 円(NFT 発行手数料)※予定		
⑦振り返りと反省	事業内容	成果	問題点・反省
	①Help to Earn の促進	システム、アプリ開発などをすることはできず、構想の検討に留まる。	構想が重なる岩手バレーボールコミッション様と協業をする形で継続を検討。
	②デジタル紫波町民を対象としたリアルイベントの開催	10/18(土)開催。8名参加。	集客や継続性に課題。
	③AI 等オンライントレーニング	1/24: 3 名、2/14: 5 名参加、3/8:0名で中止	集客や継続性に課題。
	④特産品とした連携した NFT 返礼品	FurusatoDAO NFT の営業に注力。11 件、105.6 万の寄付。	進捗管理・安定した営業体制に課題。
⑧事業 KPI	①AI 研修の受講者数(人)		②NFT に関するふるさと納税額(万円)
	R7 年度		R7年度
	目標		200
	実績		105

①事業名	紫波運動公園陸上競技場グラウンド改修プロジェクト					
②事業者名	株式会社いわてアスリートクラブ 代表取締役社長 坂本 太樹					
③事業目的	芝生を改修することにより、グラウンドの耐久性向上に伴う利用制限の緩和や、多様な利用者(児童生徒、地域住民等)によるスポーツ活動の促進と、町民の健康増進への寄与という成果が期を目指す。					
④実施期間	令和7年10月～令和8年9月					
⑤企業版ふるさと納税寄付額	34,000,000 円(3社)					
⑥事業費	令和7年度: 2,000,000 円 令和8年度: 32,000,000 円 (内訳: 改修事業費 23,500,000 円、水道代 8,500,000 円※予定)					
⑦振り返りと反省	●芝生グラウンド改修の設計・スケジュール構築 連携事業者の平野ターフに委託し、来年度施工する芝生グラウンド改修の工事費用積算、設計、現状設備の更新等に係る検討、スケジュール構築を実施。 ●今後の課題 グラウンド改修について、継続的かつ効率的な維持・管理のため、芝生の張替えのみならず、散水設備等の導入について検討が必要と思案。また、地域住民やファン・サポーターを巻き込んだグラウンド改修を検討していることから、実現に向けて構想を形にしていく。					
⑧事業 KPI	①グラウンドの利用回(増加分)			②新規利用団体の数(増加分)		
	R7 年度	R8 年度	R9年度	R7年度	R8 年度	R9年度
	0	40	40	0	3	5
	-			-		